

# シャローム



私につながっていなさい。  
私もあなたがたに  
つながっている。  
(ヨハネによる福音 15章4節)

2022年  
秋号



## 目次

— 出会い、つながり、一致する共同体 —

One for all, All for one みんなで力を合わせて

- |                   |       |               |        |
|-------------------|-------|---------------|--------|
| 信仰の絆・世代のバトン       | ・・・2p | 日曜学校だより       | ・・・9p  |
| 世界の教会「祢イグス巡礼教会」   | ・・・6p | ミサの式文が新しくなります | ・・・10p |
| 日本の教会「カトリック高円寺教会」 | ・・・8p |               |        |



■カトリック高円寺教会

## 信徒全員が繋がる仕組みで 前向きに信仰と共同体を守る



↑新司祭館

高円寺教会は1928年(昭3)年に東京で10番目の教会として誕生しました。聖堂は戦争中の空襲で焼失し、49年に再建され、当時の姿のままでも今も教会に来る人を迎えます。高円寺教会の分教会だった吉祥寺教会は聖堂再建と同じ年、小教区として独立しました。高円寺教会は長い歴史の中で野口司教、相馬司教、岡田大司教をはじめ司祭や修道者を多く輩出しています。それは、かつて「司祭になるなら高円寺教会から」と言われ、目指す方が集まったことにもよりますが、何よりも信徒の信心のなせる業と教会委員長

は語ります。

現在の信徒数は約2千人、信徒全員が住所によって12の地区に所属しています。副委員長 によると、86年頃、信徒全員が教会活動に参加できるよう名簿を地区

別としたのが基礎となり、コロナ禍前は地区毎に掃除・朗読・行事の奉仕を担い、年に最低一度、地区で集う機会を持つことになってきたそうです。現在はミサ参加の日を地区毎に指定、殆どの教会行事、33の活動グループの活動はできておらず、その間の高齢化や人数の減少もあり、活動再開時に向けて、新しいやり方も模索中とのことでした。聖堂は「新聖堂を考える会」を発足させ10年以上かけて修理か建て替えかを検討し、信徒総会で賛否両論あった中、信徒の多くが望んだ長く親しんだ聖堂の姿を残す耐震補強工事をしています。最近も聖堂内のベンチを抗菌加工や結婚式の装花器具のついた使いやすいものに変えるなど聖堂はとて美しく保たれていました。また、ミサのライブ配信用機材が、スイッチを入れれば誰でも操作できるように設置

され、毎週YouTube配信しています。ちなみに、このシステムを作った方が行事のたびに作るラーメンは絶品で信徒皆が楽しみにしている教会名物だそうです。

19年に漏電による火災で焼失した司祭館は9月18日に祝福式が予定され、4月に着任して以来教会に住めなかつた高木健次神父様の引越しを待つばかりの姿でした。火災当時の主任吉池神父様は朝ミサのため聖堂におられ無事でしたが、身の回りのものが全てが焼失し、残ったのは神父様の英知のみだったと

は振り返り、しかし、近隣に類焼せず、火災直前に保険加入をしていたなど不幸中の幸いと言えることもあり、何より神父様が落ち着いて対応され、信徒にとつて大樹のようであったことを感謝されていました。

※CTICセンター長の他に教区の仕事を複数こなしながら高円寺教会の司牧にあたる高木健次神父様の忙しきは信徒から心配されるほどですが、神父様は信徒の皆さんが教会をよく支えてくれるからこそ全ての活動ができるとおっしゃいます。お話しの間もお互いへの信頼や感謝が言葉全てに感じられ、お手本として倣いたいと思いました。



※CTIC：東京カトリック国際センターの略。外国人の自立サポートを行っています。



～待降節から いよいよミサの式文が新しくなります～【その4】



## 新しい典礼文にそなえて —来た道をふりかえる—

私が初めて名古屋の侍者会(当時は「侍者講習会」)に参加したのは、1967年、小学校4年生の時でした。当時の侍者会は10日間もあって、侍者の練習はもちろんのこと、それ以外にバス遠足や運動会、キャンプファイヤーなどのお楽しみもありました。ちょうどその頃は第二バチカン公会議(1962年〜65年)が終ったあとで、典礼の大改革の時でした。

侍者会が終わった後、私はミサの冒頭の部分のお祈りのおさらいで石橋神父様とマンツーマン授業。場所は小聖堂の裏側。芝生(のような草)に座って意味も分からないラテン語の丸暗記。

ミサの始まりはこんな感じ。  
その後延々とラテン語の呪文…じやなかった、お祈りが続く。覚えているのは回心の祈りのところで、「メアクルパ、メアクルパ、メアマクシマクルパ」と言って右手で胸を3回打つこと。司祭はひたすら祭壇に向かっていて、信徒と顔を合わせるのには説教と聖体拝領ぐらい(当時の祭壇は聖堂の最も奥の壁についていて、信徒は司祭の背中を見ながらミサに与っていました)。そんなミサもいつしか新しい典礼に移り

司祭: イン ノミネ パトリス エト フィリ エト スピリトゥス サンクティ  
In Nomine Patris, et Filii, et Spiritus Sancti.

侍者: アーメン  
Amen

司祭: イントロイボ アドゥ アルタレ デイ  
Introibo ad altare Dei,

侍者: アドゥ デウム クィ レディフィカトゥ ユーヴェントッテム メアム  
ad Deum qui laetificat iuventutem meam.

父と子と聖霊のみ名によって

アーメン

私は主の祭壇に上ろう

私の若さを喜びで満たし給う主の方へ

変わり、司祭と信徒は対面で祭壇を囲み、朗読や奉納などで、信徒も司祭と共にミサをささげる形になりました。また祈りも対話形式で次第に文語体から口語体になり、聖歌もラテン語から公教聖歌集、カトリック聖歌集という歴史をたどり、現在は典礼聖歌集を中心に様々な聖歌が歌われるようになりました。

この典礼聖歌集も初めは今のような分厚い歌集ではなく、1969年に第1集の分冊刊行を皮切りに第8集まで発刊され現在の合本になったのは1980年なので、これだけでも11年かかったということですね。またこのような聖歌集のほかにも若者や子供たちがギターやキーボードでの伴奏で楽しく歌って祈ることができる曲もたくさん出てきました。

典礼聖歌集の第1集の冒頭の部分には「刊行にあたって」ということで古谷義之司教様が聖パウロの言葉を用いて次のように記されています。



※mea culpa, mea culpa, mea maxima culpa,(これわが過ちなり、わが過ちなり、わがいと大なる過ちなり)



# 聖歌隊より

時代を超えて改訂を重ね、歌い継がれてきた日本のミサ曲、聖歌集



『感謝のうちには詩編、賛歌、聖歌をもって心から神をほめたたえなさい。また、ことばも行為もすべて主イエズスのうちにあって行ない、父である神にわたしたちの主イエズス・キリストを通して感謝をささげなさい』(コロサイ3:16~17)。聖パウロのことばは、わたしたちキリスト者の祈りと典礼と生活に、詩編や聖書賛歌やその他の聖歌がどれほど重要なものであるかをよく表しています。…』

今はもう読める人も  
少なくなつた  
ネウマ譜(四線譜)の  
グレゴリオ聖歌



また聖アウグスチヌスは「よく歌う人は二倍祈る」と言われました。今はコロナ禍で聖歌が思うように歌えませんが、すべてのミサが聖歌でささげられる日が1日も早く来ることを祈ります。それぞれのミサでの聖歌隊も募集中です。興味のある方は遠慮なく申し込んでくださいね。

今年の待降節から典礼文は新しくなります。待ちに待ったミサ曲も出来上がり、これから練習です。吉祥寺教会ではどの



ラテン語と読み仮名と  
日本語訳の3種揃い踏み。  
ラ行に半濁点つける工夫  
に脱帽

カトリック聖歌集では  
殆どが単音で斉唱する  
曲でした



ミサ曲が採用されるのかわかりませんが、このシャロームがお手元に届く頃には決まっていることを祈ります。色々不安はあるかもしれませんが、50年前の典礼の変更(ラテン語→日本語)に比べれば大したことないかもしれませんね。

表題は「…そなえて」としましたが、それよりもごミサでたくさん聖歌を歌い、吉祥寺教会の典礼が神様を賛美するのにふさわしいものとなりますように。



典礼聖歌集の時代を迎え、  
四部合唱が登場。コーラス  
にも厚みが出てより美しく  
なりました

2022年度

キリスト教講座

曜日	時間	内容	担当者	対象	場所
第1・第3日曜日	11:30	キリスト教入門講座	司祭団	洗礼希望者	1階 大ホール
第2・第4土曜日	15:30	キリスト教入門講座	司祭団	洗礼希望者	1階 大ホール

※ 現在、洗礼希望者のための入門講座のみ開講中です。なお、今年度の受講申込みは終了しました。

◆表紙の上段は八ヶ岳山の家の最寄り小淵沢（日曜学校の夏合宿ではこの駅から山の家まで1時間ほど歩いていきます）、下段は神言修道会多治見修道院、どちらも吉祥寺教会と繋がりのある土地のぶどう畑です。実は教会敷地内にも小さなぶどうの木があります。探してみてください。

◆4回にわたって連載した『ミサの式文が新しくなります』も今回が最終回。そして、先唱者等対象の説明会が発行日当日に行われます。新しい式文、メロデーを使ったミサは待降節からとなります。少しずつ慣れて、みんな豊かな典礼を作り上げていきましょう。

◆第七波と呼ばれた新型コロナウイルス感染症の蔓延も、9月に入り落ち着きをみせ、7月半ばから中止していたミサも予約不要で再開することができ、10月からは週日の朝ミサも始まりました。まだ歌の斉唱やミサ中の献金、奉納ができない等の制限はありますが、教会に来てミサにあずかれる幸せを大いに喜びましょう。

◆キリスト教入門講座の他に、一昨年から今年までに堅信を受けた方のためのフォローアップ講座も9月から開講しています。

◆シャローム次号はクリスマス発行予定です。（広報工）

■ 売店と事務室の受付時間（通常） ■

火、水、金、土、日 9:30~17:00

※ 定休日：月、木曜日、祝日

（受付時間は、変わる場合があります）

売店は当面土、日のみ開店

■ ミサ時間案内（通常） ■

主日：9:00 / 10:30

\*第1 15:30（英語）

第3 15:30（英語又はタガログ語）

土曜：17:00（主日のミサ）

週日（火～金）：6:50

■ 教会報 シャローム ■ NO.504 2022年10月30日発行

カトリック吉祥寺教会 教会委員会 広報

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-7-8

TEL 0422-44-0181/FAX 0422-44-0180 URL ▶ <https://svdtokyo.jp/>

教会維持献金振替口座 郵便振替：口座番号/00120-1-106084

加入者名/カトリック吉祥寺教会

